



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 伯東株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7433 URL https://www.hakuto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 阿部 良二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-8931  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	44,784	△19.7	1,996	△47.6	1,728	△56.4	6	△99.8
2023年3月期第1四半期	55,787	25.1	3,809	82.0	3,967	84.8	2,808	89.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,856百万円 (△50.7%) 2023年3月期第1四半期 3,765百万円 (119.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.36	-
2023年3月期第1四半期	146.26	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	139,201	62,770	45.1	3,354.39
2023年3月期	145,900	63,863	43.8	3,416.27

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 62,770百万円 2023年3月期 63,863百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	120.00	-	160.00	280.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	140.00	-	140.00	280.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,000	△21.6	3,600	△50.0	3,400	△53.4	2,450	△52.4	131.06
通期	190,000	△18.7	8,000	△37.1	7,600	△36.9	5,400	△39.5	288.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期1Q	23,137,213株	2023年3月期	23,137,213株
2024年3月期1Q	4,424,192株	2023年3月期	4,443,389株
2024年3月期1Q	18,701,756株	2023年3月期1Q	19,199,123株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	10
(表示方法の変更) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国において行動制限の緩和が継続しましたが、ロシアによるウクライナ侵攻から来る不確実性の高まりやインフレの進行、各国の金融引締め加速など、世界経済は停滞感が続いております。

我が国の経済については、米中間での貿易摩擦激化による地政学上の緊張や物価高など負の側面があるものの、経済活動の再開に伴う個人消費の回復や訪日外国人旅行者数の増加によるインバウンド需要など、景気回復の期待感が続いております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、スマートフォン・PC・民生等は需要低迷に顧客の在庫調整が加わり回復力がやや弱い一方、EV関連のパワーデバイスやカーボンニュートラルなどのグリーン関連事業は今後の市場拡大も期待されており、積極的な投資が継続しております。また生成AI分野に関する技術の進歩が続いており、これらの用途に対する新たな需要及び成長期待も高まっております。

このような状況のもと、当社グループの電子部品事業においては、車載関連用途のICは一部の製品で引き続き納期問題が継続しておりますが、供給は回復傾向となっており販売数も増加しております。一方で民生機器をはじめとする他の分野では顧客の在庫調整が進み、対前年同期比で減収となりました。

電子・電気機器事業においては、半導体製造関連の設備投資に慎重な姿勢が見え始め、プリント基板製造装置などの販売が減少し、対前年同期比で減収となりました。

工業薬品事業においては、中国の景気低迷により工業薬品・化粧品ともに需要が停滞気味となり、対前年同期比で減収となりました。

このような環境下において、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は447億84百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

損益面につきましては、当第1四半期連結累計期間の連結売上総利益は65億17百万円（同20.8%減）となり、連結販売費及び一般管理費として45億20百万円（同2.4%増）を計上した結果、連結営業利益は19億96百万円（同47.6%減）、連結経常利益は17億28百万円（同56.4%減）となり、特別損失として貸倒引当金繰入額1,165百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6百万円（同99.8%減）となりました。

また、1株当たり四半期純利益は0円36銭となり、前年同四半期より145円90銭減少いたしました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

#### [電子部品事業]

電子部品事業では、車載関連用途のICが引き続き堅調に推移しましたが、テレビ等の民生機器分野や産業機器分野を中心にコロナ禍の大幅な需要増の反動や中国の景気低迷等の影響を受けました。また、大手半導体メーカー製品の商流変更による減収及び前年度における連結売上総利益の押し上げ要因となった円安進行による為替影響も当第1四半期は軽微でありました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高359億8百万円（前年同期比22.8%減）となり、販売減少に伴う利益額の減少等の要因により、セグメント利益は14億78百万円（同45.2%減）と大幅な減少となりました。

#### [電子・電気機器事業]

電子・電気機器事業では、真空関連機器は前年度の先行手配などの受注残を出荷できたことにより販売が増加しましたが、半導体製造関連の設備投資は顧客の在庫調整の影響もあり先送りの動きが見え始め、プリント基板製造装置の販売が減少しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は56億97百万円（前年同期比4.2%減）となり、販売減少に伴う利益額の減少等の要因により、セグメント利益は4億7百万円（同49.6%減）となりました。

#### [工業薬品事業]

工業薬品事業では、石油精製・石油化学分野、紙・パルプ分野ともに供給過剰な状況が継続し、需給バランスの回復が遅れ、低稼働が続いております。また化粧品基剤においても中国を中心に需要が減少したことにより、対前年同期比で減収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は30億40百万円（前年同期比3.8%減）となり、原材料費の高騰及び販売減少に伴う利益額の減少などにより、セグメント利益は1億84百万円（同46.9%減）となりました。

[その他の事業]

その他の事業では、当社の業務・物流管理全般の受託事業と太陽光発電事業を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は3億13百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は77百万円（同16.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して75億48百万円（5.8%）減少して1,219億14百万円となりました。これは主に商権移管による売上高の減少に伴い、受取手形、売掛金及び契約資産が88億2百万円が減少したためであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して8億50百万円（5.2%）増加し、172億87百万円となりました。これは主に保有株式の株価の上昇により、投資有価証券が6億79百万円増加したためであります。

以上のことから、当第1四半期連結会計期間末における資産の部全体としては、前連結会計年度末と比較して66億98百万円（4.6%）減少し、1,392億1百万円となりました。

負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末と比較して44億92百万円（6.6%）減少して632億81百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が13億95百万円増加したものの、売上債権の減少に伴う運転資本の減少により借入金の返済が進み、短期借入金が55億円減少したためであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して11億13百万円（7.8%）減少して131億49百万円となりました。これは主に長期借入金が15億25百万円減少したためであります。

以上のことから、当第1四半期連結会計期間末における負債の部全体としては、前連結会計年度末と比較して56億6百万円（6.8%）減少し、764億30百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して10億92百万円（1.7%）減少し、627億70百万円となりました。これは主に為替の変動により為替換算調整勘定が12億37百万円、保有株式の時価の上昇によりその他有価証券評価差額金が4億72百万円増加した一方で、期末配当金の支払い等により利益剰余金が29億93百万円減少したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは120億54百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは2億4百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは99億14百万円の支出となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して23億49百万円増加し、当第1四半期末は191億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間においては、棚卸資産の増加額23億59百万円等の減少要因がありましたが、売上債権の減少額121億61百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは120億54百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には売上債権の増加額49億41百万円等により33億11百万円の支出となっておりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得による支出1億39百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは2億4百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得による支出1億51百万円等により1億49百万円の支出となっておりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間においては、配当金の支払額28億32百万円、短期借入金の返済による支出（純）55億円、長期借入金の返済による支出15億25百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは99億14百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、短期借入による収入（純）49億円等により、40億23百万円の収入となっておりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日（2023年7月31日）付けで、「特別損失の計上ならびに投資有価証券売却に伴う特別利益の計上見込みに関するお知らせ」を公表しました。連結業績予想につきましては、他の要因も含め精査中ではありますが、本日時点で2023年4月28日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に変更が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,751	19,100
受取手形、売掛金及び契約資産	49,664	40,861
電子記録債権	9,189	6,620
商品及び製品	46,924	50,019
仕掛品	43	37
原材料及び貯蔵品	1,005	1,137
その他	5,890	5,317
貸倒引当金	△5	△1,180
流動資産合計	129,463	121,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	927	952
機械及び装置（純額）	1,347	1,297
土地	3,053	3,053
その他（純額）	1,059	1,145
有形固定資産合計	6,388	6,449
無形固定資産		
無形固定資産	202	316
投資その他の資産		
投資有価証券	9,288	9,968
繰延税金資産	190	178
その他	394	402
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	9,845	10,521
固定資産合計	16,436	17,287
資産合計	145,900	139,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,919	24,314
電子記録債務	3,650	3,395
短期借入金	28,800	23,300
リース債務	327	315
未払法人税等	2,065	835
賞与引当金	3,143	1,121
役員賞与引当金	70	—
製品保証引当金	18	17
その他	6,779	9,981
流動負債合計	67,773	63,281
固定負債		
長期借入金	12,809	11,284
リース債務	148	283
繰延税金負債	950	1,231
役員退職慰労引当金	16	16
退職給付に係る負債	313	308
その他	25	25
固定負債合計	14,263	13,149
負債合計	82,036	76,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	5,679	5,686
利益剰余金	50,509	47,516
自己株式	△9,108	△9,063
株主資本合計	55,181	52,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,038	5,510
繰延ヘッジ損益	63	200
為替換算調整勘定	3,814	5,052
退職給付に係る調整累計額	△235	△232
その他の包括利益累計額合計	8,681	10,531
純資産合計	63,863	62,770
負債純資産合計	145,900	139,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	55,787	44,784
売上原価	47,562	38,266
売上総利益	8,224	6,517
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,228	1,278
賞与引当金繰入額	780	765
退職給付費用	98	108
その他	2,307	2,368
販売費及び一般管理費合計	4,415	4,520
営業利益	3,809	1,996
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	171	39
為替差益	13	—
持分法による投資利益	16	—
その他	56	56
営業外収益合計	264	101
営業外費用		
支払利息	44	49
売上債権売却損	35	14
為替差損	—	285
持分法による投資損失	—	15
その他	26	4
営業外費用合計	106	369
経常利益	3,967	1,728
特別利益		
固定資産売却益	8	0
特別利益合計	8	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
貸倒引当金繰入額	—	1,165
特別損失合計	0	1,167
税金等調整前四半期純利益	3,975	560
法人税等	1,167	554
四半期純利益	2,808	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,808	6

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,808	6
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△487	472
繰延ヘッジ損益	△22	137
為替換算調整勘定	1,459	1,237
退職給付に係る調整額	8	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	957	1,849
四半期包括利益	3,765	1,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,765	1,856

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,975	560
減価償却費	233	229
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,078	△2,033
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	1,175
受取利息及び受取配当金	△177	△44
支払利息	44	49
持分法による投資損益 (△は益)	△16	15
固定資産除売却損益 (△は益)	△8	1
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,941	12,161
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,286	△2,359
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,868	912
その他	1,607	2,886
小計	△1,774	13,575
利息及び配当金の受取額	194	60
利息の支払額	△48	△49
法人税等の支払額	△1,682	△1,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,311	12,054
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△151	△139
有形固定資産の売却による収入	8	0
無形固定資産の取得による支出	△7	△61
投資有価証券の取得による支出	△0	△3
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149	△204
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	61,000	52,200
短期借入金の返済による支出	△56,100	△57,700
リース債務の返済による支出	△76	△101
長期借入れによる収入	4,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,195	△1,525
自己株式の取得による支出	△1,800	△0
自己株式の処分による収入	47	45
配当金の支払額	△1,852	△2,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,023	△9,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	627	413
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,190	2,349
現金及び現金同等物の期首残高	18,620	16,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,810	19,100

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、持分法適用関連会社としておりました株式会社エーエスエー・システムズは、重要性が低下したため当第1四半期連結会計期間において持分法の適用範囲から除外しております。

（表示方法の変更）

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

前第1四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「貸倒引当金の増減額」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた1,609百万円は、「貸倒引当金の増減額」2百万円、「その他」1,607百万円として組み替えております。

（追加情報）

従来より偶発債務として注記しておりました当社のシンガポールの連結子会社であるHakuto Singapore Pte. Ltd.（以下、伯東シンガポール）において2016年7月1日から2017年6月30日までの期間の輸入支払GST（財・サービス税）に係る還付請求が否認され、GST Board of Review（財・サービス税審査委員会）に対して審理申立てをしている事案につきまして、審理は継続中ですが、直近の同国税務当局及び財・サービス税審査委員会の動向を検討した結果、伯東シンガポールの申し立てが否認される可能性が相当程度高いと判断いたしました。

そのため、伯東シンガポールにて計上している未収税金（連結貸借対照表上はその他の流動資産）1,165百万円（10,896千シンガポールドルを当第1四半期連結会計期間末の為替レートで円換算）について貸倒引当金を計上するとともに、同額を貸倒引当金繰入額（特別損失）として費用計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	46,526	5,947	3,161	331	55,967
セグメント利益	2,699	808	347	92	3,948

当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	35,908	5,697	3,040	313	44,959
セグメント利益	1,478	407	184	77	2,148

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	55,967	44,959
セグメント間取引消去	△179	△174
四半期連結財務諸表の売上高	55,787	44,784

(単位：百万円)

利益	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	3,948	2,148
その他の調整額	△139	△151
四半期連結財務諸表の営業利益	3,809	1,996

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。